

【TBH工法(トップドライブリバース工法)】

BH工法が正循環であるのに対し「逆循環(リバースサーキュレーション)」で大口径ボーリングを可能にした工法です。従来のリバース工法に加え、トップドライブ方式を採用した本工法は、狭小、低空頭での施工条件下で大口径掘削でも迅速・容易に施工することができます。又、正循環掘削工法で発生するスライム沈殿の問題も解消し、確実な管理・施工が行えるようになりました。近年、盛んなジオフロント工事に対しても、既存の構造物下のような作業空頭が低い狭隘な条件下でも実力を発揮するため、多数採用されている工法です。

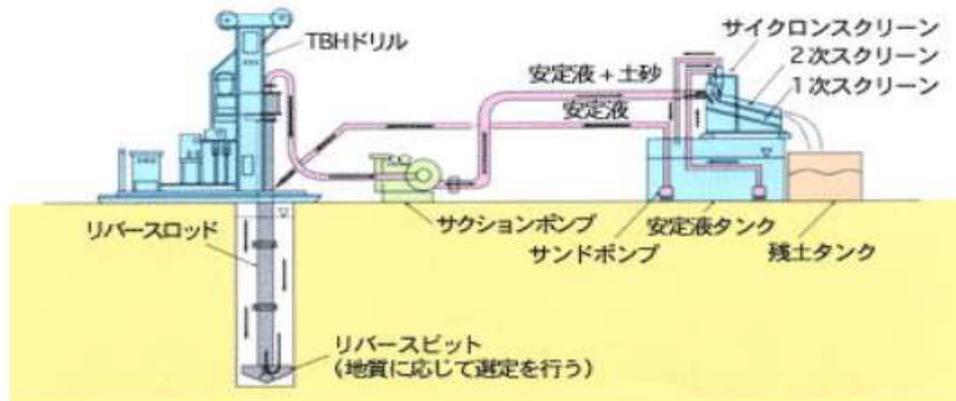


■特長■

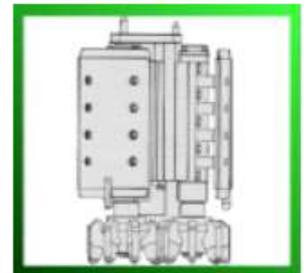
1. 施工機械が小型のため狭小な敷地での施工が可能。
2. 高架下や屋内など作業高さが低い場合でも施工が可能。
3. 進入道路が狭い場合でも軽量で小型であるため搬出入が容易に行える。
4. マシンの組立解体に重機を必要としない。
5. 施工時の騒音・振動が極めて低レベルである。
6. 孔底のスライム処置が確実に行える。
7. トロコイドビットを使用することにより、玉石・硬質地盤の掘削が可能である。
8. 最大φ2500mmまでの大口径の掘削が可能である。



■掘削フロー図



一般土質用
ウイングビット



玉石、軟岩用
トロコイドビット